

令和元年度事業報告書

(1) 令和元年度を省みて

平成の時代が終わりを告げ、新しい元号「令和」を迎えました。

バブル崩壊と共に博物館活動は低迷期に突入し、公益財団への変換と共に悲しいかな閉館しなければならなくなった館が相継いだ事でした。

一方、暴風・豪雨等大きな爪痕を全国各地に残し、自然の力の強さを思い知らされた年でもありました。そうゆう意味では悲しい時代であったのではないのでしょうか。

年が新たまり、いろいろ思いを巡らせ、今年こそ事業活動の内容を「此処を補おう」とか「此処を直そう」と思いを走らせ自分自身を活性化させてまいりましたが、財政的に厳しい状況の折でもあり、基本的機能を維持しながら、多くの方々の期待や要望に応え得るサービスも最小限に図っての活動と致しました。

また来館者の方々に「又、来たいなー」と思っていただけのような博物館にどの思いがあり、事業や展示の充実をと思っておりましたが、なかなか満足のいくような事は難しく、とりあえずは楽しい、面白い博物館にするよう心がけてまいりました。

年間事業を進めて行くために、職員みんなが協力し合い、今まで実績を重ねてまいりました継続事業を今一つ掘り下げ、一つ一つの事業内容を効果的に立案実施致しました。

主な事業を振り返りますと新年度最初の事業、北陸最大規模と云われる清明茶会は濃茶・薄茶・点心に加え、今年は更に平泉寺の自然豊かな森の展望をご覧戴きたく6階に野点席をご用意。さらに勝山市には、お堀坂に店舗出店のご協力をいただき、地元の「おやき」「里芋の煮っ転がし」「スイーツ」等々の販売を行いお客様を楽しませていただきました。

勝山市・勝山城博物館連携特別展覧会は、勝山市出身の「書家西脇呉石展～研ぎ澄まされた心と線～」を開催、講演会や石碑巡り等、生前の呉石のお弟子さん、呉石家ご親類さま方をはじめ多くの書家の方々にご来館いただき賑わいました。

絵画作品展「お城を描こう」は、過疎化・少子化の社会状況の背景の中、沢山の応募数を戴き、今年は各賞の他に勝山市長賞を設けた事でグレードアップに繋がりました。

地域の施設4館によるクローバーグループ連携事業活動の中から「俳句・・・ちやまを詠む・・・」は、各館に設置の投句箱を開票、選者の先生により選考された句を表彰するもので、俳句ブームのこの時期、作品も素晴らしいものが数多くあり選者の先生方をうならせておりました。

また、今年の友の会活動は「広報部」「研修部」「文化部」いつもながら、それぞれがユニークに活発に活動され、会員が生き生きと楽しんで参加されていたのが印象に残っております。

以上の様な主な展開の一年でしたが、勝山市や地域の施設との連携グループ「クローバー会」、そして勝山城友の会との協働を充実させることはもとより、勝山城博物館への愛着や誇りを地域の皆様により育ていただき、自主自立を活かした事業と取り組み、更なる飛躍を心がけるとともに今後必要に応じて事業の見直し等も行っております。

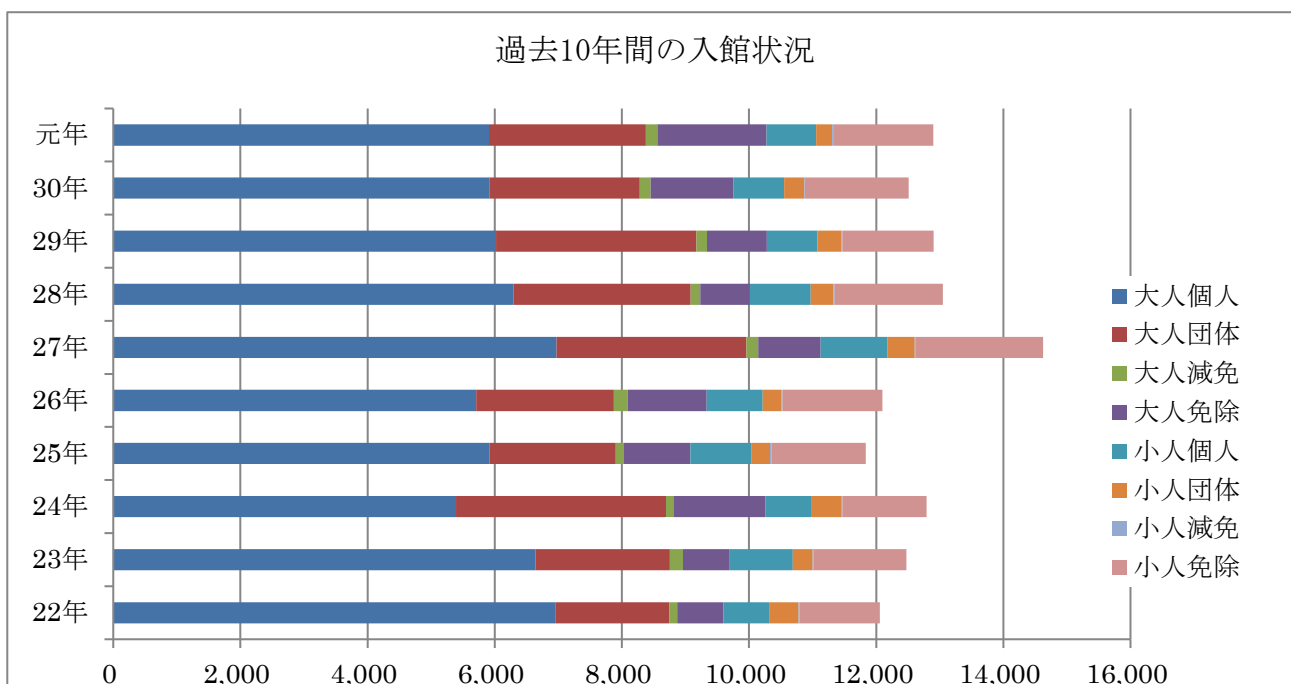
(2) 入館者の状況
令和元年度入館状況

有 料 入 館 者 数				入館料 (円)
大 人	小 人 (小中高生)	減免者	合 計	
8,378 人	1,036 人	196 人	9,610 人	4,112,500 円

免除者	入館者総数	備考
		3,288 人

- 開館日数 322 日 (昨年度 319 日)
- 1 日平均の入館者数 40.1 人 (昨年度 40.2 人)
- 令和元年度の入館者数の増減は4月の清明茶会に初めて勝山おやきまつりを開催したことにより前年同月比約40%増、新天皇陛下即位に伴いゴールデンウィークは大型10連休となり前年同期間比約30%増、1月、2月は暖冬により全く積雪がなかったことにより前年度同月比約40%増、約70%増となりましたが、6月は連休の反動により前年同月比約30%減、特別展は前年同期間比約13%減、3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年同月比約35%減となったことで、入館者数の一番多い時期の減少幅が大きかったために全体では前年度と比較すると約3%増となりました。

勝山市内に限定しますと、今年度の特別展は特殊だったためか、クラス単位で見学に来られる学校が減りましたが絵画展でのこども園の見学は増え、勝山市との連携がこうした方面でもよい影響を与えていると考えられます。今後は新型コロナウイルス感染拡大防止による影響は多々あると思いますが、これからも入館者数増加に注視してまいります。



(3) 常設展・企画展等の実施状況

①常設展示

【6階】展望室となっています。河岸段丘などの勝山ジオパークの景観や、国史跡の白山平泉寺旧境内のほか県内を代表する三室遺跡といった遺産も一望できます。

【5階】「平泉寺の歴史」を故金栄健介氏の絵で紹介しています。

【4階】企画展示室と中国刺繍展示室があります。前者は勝山の歴史を紹介する「勝山の歩み」コーナーと特別展の会場にもなります。「勝山の歩み」コーナーは勝山市との連携特別展の成果を反映し、特別展後の展示復旧の度にリニューアルすることで着実に充実させています。後者は特別展「福井の偉人 書家西脇呉石」終了後、新たに「書家西脇呉石」コーナーを設け紹介していくことになりました。

【3階】大名家の甲冑を中心に武具や合戦図屏風、小袖などを展示しています。刀剣や染織を中心に不定期に展示替えを行っています。新年の特別陳列・新収品展もこのフロアの一部ケースを利用して行っています。

【2階】今井俊満作障壁画「日本の四季」があり、各種コンサートや講演会会場及び貸館会場となります。その他勝山市を代表する祭りである勝山左義長祭りで実際に使われていた櫓一基が設置され、解説コーナーを併設しています。

【1階】当館の100分の1模型、建設時の記録、創立者多田清氏の紹介コーナーのほか、ミュージアムショップを設置しています。

②平成お天守塾第13回勝山城清明茶会

会 場 4階企画展室、2階ホール、和室
「蘭月の間」

開催日 4月14日(日)

入館者数 581人(茶券217枚)

主 旨 北陸地方最大規模を誇る茶会となり、1日の集客数が年間最多となる当館の看板イベントの1つとなっています。

今回は13回目となり、館内に濃茶席・煎茶席・野点席・点心席を設け、さらに、テント市を始め、勝山市との連携によりお堀までの登坂で初めて勝山おやき祭りを開催し、県内外から今までより多くのお客さまが来られました。

誰でもお茶を楽しんでもらえるように6階展望室に設けた野点席には前回より多くの方が入場された他、おやき祭りで



はおやきが売り切れとなるなど、大好評となりました。そして、マスコミ各社様にも取材をいただき、大きく報道していただきました。

③勝山城博物館・勝山市連携第6回共催展

「生誕百四十年記念 福井の偉人 書家西脇呉石 ～研ぎ澄まされた心と線～」

会 場 4階企画展室

期 間 7月20日（土）～9月30日（月）

入館者数 3,546人

主 旨 勝山市との連携第6回の展覧会を開催いたしました。西脇呉石は没後四十九年となり、生前の呉石を知る方々にも作家としての生涯を見てもらえるよう一年でも早く準備し、今回、開催できる運びとなりました。本展覧会では初公開となる呉石自身の書作品・南画・草稿類・手本類・道具類のほか、呉石が収集した明治時代を中心とする作家作品を展示いたしました。主に県外から多くの方が来られ、自信の見分を広げるため若手の書家の方も来られました。その他、図録の売り上げが昨年の販売部数より約七倍以上になりました。

【特別展関連イベント】

- ・7月27日（日） 特別展覧会講演会
「書家西脇呉石について」
講師：林 淳（当館学芸員）
- ・9月14日（日） 特別展覧会講演会
「書芸術の面白さ」
講師：林 淳（当館学芸員）
- ・9月21日（土） 外部見学ツアー「西脇
呉石書丹石碑巡り in 勝山」



④勝山城のおたんじょうび

会 場 2階鯉前ホール

開催日 7月20日（土）

入館者数 114人

主 旨 しろきこども園の園児25名たちの大合唱と和太鼓演奏会と先生たちの楽器演奏会を行いました。勝山城博物館が開館した7月19日にちなみ、一般入館者も含め多くの方々が心を癒される演奏会で

「勝山城のおたんじょう日」を祝ってくれました。



⑤納涼花火見物&ナイトミュージアム

会 場 6階展望室

開催日 8月14日(月) 20:00~20:40

夜間入館者数 28人

主 旨 6階展望室に椅子を設置して行いました。前回より微増となりました。展示室の夜間観覧も例年通り実施し、通常では味わえない夜の展示室をお楽しみいただきました。



⑥お城でゴスペルⅦ

会 場 2階障壁画ホール

期 間 10月6日(日)

入館者数 92人

主 旨 第6回目となったゴスペルコンサートは地元勝山のゴスペル・ウィンディ・フレンズと、金沢市で活躍している中田理恵子 VOX OF JOY とのコラボによるライブとなりました。最後には多くのお客様がよく知っている歌である「ふるさと」をゴスペル風にし、共に歌い、ゴスペルを楽しんで体感してもらう企画となりました。今回はチケット代金を200円値上げし、大人800円といたしましたが、前回より16名増となりました。



⑦勝山市連携協力事業

第14回越前勝山城絵画作品展「お城を描こう」

会 場 2階障壁画前ホール

期 間 表彰式11月3日(日)

展示会11月3日(日)～

11月24日(日)

入館者数 1,136人

主 旨 第14回目となった「お城を描こう」は今回も前回同様勝山市との連携協力事業として開催することができました。応募総数は、前回より44点下回り747点となりました。入賞作は163点を選考し当館に展示いたしました。また、展示作品の中から最も良かった作品に対して入館者投票を行い、3位までの出品者を表彰いたしました。その他、最上位に勝山市長賞1点を設けたことと、今後もより多くの方にご応募いただける

よう 11月29日から9日間、勝山市内のショッピングセンターの展示会場に銅賞入賞者以上の作品を展示いたしました。



⑧クローバーグループ連携事業

「俳句」・・・ちやまを詠む・・・令和元年度春夏（3月～8月）の部

会 場 2階障壁画ホール

期 間 表彰式11月4日（月）

展示会11月4日（月）～11月29日（金）

入館者数 397人

主 旨 勝山市内の4館の文化施設の連携協力事業として始まった俳句事業は第5回目を迎え、今回は276点の投句がありました。入賞作は特選3点、入選6点を選考し、1カ月ごとに順次4館で展示いたしました。また、今回から初めて表彰式を行うこととなり当館2階ホールにて入賞者4名の方が参加し執り行われました。



⑨新春特別陳列・新収品展

会 場 3階展示室の一部

期 間 令和元年1月2日（木）～1月31日（金）

入館者数 479人

主 旨 新春恒例となった当館蔵の屏風展示を行いました。新収品では特別共催展西脇呉石展の作品のほか、展示しなかった作品を含めて展示するなど、真冬の入館者が減る時期に少しでも多くの方に宣伝ができるようにいたしました。暖冬により積雪がなかったため、入館者は前年度より123名増となりました。

主な展示資料

「川中島合戦図屏風」「白綾子地花笈文様打掛」「伝・小笠原藩主拝領小刀」「輪島塗漆器一式（新収品）」「西脇呉石額・軸（新収品）」

（4）主な文化・貸館事業

①月例茶会

会 場 2階和室「蘭月の間」

期 間 4回(5月5日、7月7日、9月1日、11月10日)

利用者 88人

主 催 勝山市茶道連合会・勝山城博物館

勝山市茶道連合会に加入している5会派と協力して、茶道に親しみ博物館への理解を深めてもらうための文化活動の一環として始まった月例茶会も16年目を迎えました。雪の季節を除き、隔月の第1日曜を原則に設定しております。利用者数はほぼ例年通りとなりました。

②貸館事業

以下の茶会・各種コンサート・ピアノ発表会等で利用されました。

6月16日（日） 斎藤ピアノ教室発表会

6月23日（日） 昇美会茶道研修会

7月21日（日） 天野ファミリー音楽会

9月21日（日） 村井ピアノ教室発表会

10月29日（火） 奥越法人会女性部会絵本贈呈式

11月16日（土） 昇美会茶道研修会

③クローバーグループ連携協力事業

- ・クイズラリーの開催（クローバー探検クイズ）
各施設のクイズに全問正解するとスタンプを押ししてもらい、スタンプ3個以上で記念品を贈呈いたします。

（5）その他の社会教育関連業務

①勝山城友の会活動

1.講演会

- ・和太鼓「伝統三つ打ち「魂の世界」ライブ&トーク」

講師 響太鼓・車屋グループ・和太鼓 THE MIYAMA 代表 車屋 正昭 氏

5月9日（木）13時40分～15時30分 参加者数35人

会場 2階障壁画ホール

2. 勝山城友の会だより第 26 号の制作 [広報部]

- ・令和 2 年 1 月 30 日発行 A4 サイズ 21 頁 (カラー)
業者に依頼し作成しています。内容が充実した良い冊子ができました。

3. 春の館外研修 [研修部]

- ・「名古屋城本丸御殿と伊勢神宮の旅」(愛知県名古屋市・三重県伊勢市)
5 月 28 日 (火) ～29 日 (水)
名古屋城、ノリタケの森、伊勢神宮外宮・内宮、神宮博物館他見学 参加者数 26 人

4. 講習会 [文化部]

- ・「幸せ包もう風呂敷作ろう」教室 講師 嶋田 由紀子 氏・木村 美智子 氏
6 月 8 日 (土) 13 時 30 分～15 時 30 分 参加者数 14 人
会場 ゆめおーれ勝山イベント広場
- ・「和綴じ帳講習会」 講師 辻 利律子 氏
11 月 9 日 (土) 13 時 30 分～15 時 00 分 参加者数 13 人
会場 ゆめおーれ勝山イベント広場

5. 作品展示・撤収

- ・勝山城博物館「お城を描こう絵画展」の絵画展示・撤収ボランティア
友の会有志による 10 月 31 日 (木)、11 月 25 日 (月) 参加者延べ 24 人

②館蔵資料貸し出し

0 件

③学芸員による公開講演・発表

- ・「白山平泉寺の文化 (能面)」
9 月 10 日 (火) 勝山市さわやか大学講演 会場 勝山市教育会館 3 階
- ・「博物館施設について」
11 月 19 日 (火) 勝山市さわやか大学講演 会場 勝山市教育会館 3 階

④職場体験の受け入れ

- ・10 月 29 日 (火) ～31 日 (木) 勝山南部中学校より 4 名
初日は事業課関連業務、2 日目は主に総務課関連業務を体験していただきました。

(6) 財団の運營業務等

1. 役員等の現況 (令和2年3月31日現在)

職名	現員	定数	摘要
評議員	4名	3名以上12名以内 (定款第10条)	
理事	6名	3名以上12名以内 (定款第22条)	
監事	1名	3名以内 (定款第22条)	

2. 職員等の配置 (令和2年3月31日現在)

職名・氏名	事務分掌	摘要
事務局長 深谷 久枝	財団・博物館の事務統括	博物館館長兼務
総務課長 酒井 治	庶務・会計・事業に関する事務の統括	防火管理者
事業課長 林 淳	学芸・事業に関する事務の統括、学芸業務全般	学芸員
事業課 光仙 陽子	受付・案内等に関すること 友の会事務局担当	
総務課 木下 絹代	庶務・会計に関すること	パート雇員
総務課 山西 陽子	博物館内外の清掃に関すること	パート雇員
合計	6名	

3. 理事会(定時・臨時)の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
令和元年6月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度事業報告書承認の件 2 平成30年度決算報告書承認の件 3 「理事の候補者」の件 4 臨時理事会の開催の件 5 「定時評議員会の日時及び目的である事項」の件 	理事全員の同意によりみなし理事会成立
令和元年7月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1 理事長の選任の件 2 専務理事の選任の件 	理事全員の同意によりみなし理事会成立
令和2年3月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本財産の一部取崩の承認の件 2 令和2年度事業計画書(案)の承認の件 3 令和2年度収支予算書(案)の承認の件 4 「臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項」の件 	理事全員の同意によりみなし理事会成立

4. 評議員会(定時・臨時)の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
令和元年6月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議長の選出の件 2 議事録署名人の選出の件 3 理事の選任の件 4 平成30年度事業報告及び決算書類の承認の件 	定例評議員会 会場 勝山城博物館
令和2年3月30日	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本財産の一部取崩の承認の件 2 令和2年度事業計画書(案)の承認の件 3 令和2年度収支予算書(案)の承認の件 	評議員全員の同意によりみなし評議員会成立

以上